



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 10 No. 2722

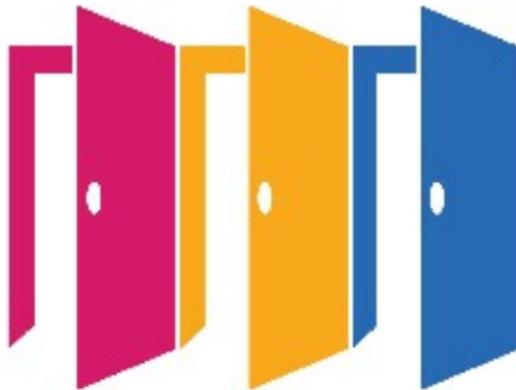
2020-2021年度国際ロータリーのテーマ

2020-2021年度R I 会長 ホルガー・クナーク

2020-2021年度R I 第2500地区テーマ

2020-2021年度R I 第2500地区ガバナー松田英郎

ランクアップしましょう



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度士別ロータリーのスローガン

新しい絆を築き新たな考動を！

- 会 長 / 志村 孝幸
- 副会長 / 菊地 昭通
- 幹 事 / 片庭 隆暁
- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:00
- 事務所 / 士別グランドホテル TEL0165-23-1234

R I ホームページ <https://www.rotary.org/ja> 2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>
 士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

第2806回例会 2020年 9月28日(月)

今日のプログラム ・普通例会

前回(9月15日)の記録 ・夜間例会・ガバナー公式訪問

司 会 大野裕一郎 会場監督
 齊 唱 国歌斉唱・奉仕の理想
 本日の出席 会員 47人中 出席者 47人 出席率 100%
 本日の欠席

メイクアップ
 ビジター 松田秀郎 ガバナー
 稲場英紀 第2分区ガバナー補佐
 峰廻賢 地区副幹事、西川恭隆 地区副幹事

ゲ ス ト
 ニコニコBOX
 加藤博、神田英一(誕生祝い)

累計 95,000円

例会予定

■ 10月例会日 [経済と地域社会の発展月間 ・米山月間]

- 10月 5日(月) 普通例会・理事会
- 10月12日(月) 早朝例会
- 10月19日(月) 普通例会
- 10月26日(月) 夜間例会

■ 11月例会日 [ロータリー財団月間]

- 11月 2日(月) 普通例会・理事会
- 11月 9日(月) 普通例会
- 11月16日(月) 普通例会
- 11月23日(月) 休会(法定休日:勤労感謝の日)
- 11月30日(月) 夜間例会

■会務報告.....志村孝幸 会長

◆今日は、松田ガバナーをお迎えしての公式訪問例会です。今年度のクラブ協議会は中止となりましたが、例会に先駆け、5時30分から会長幹事懇談会を開催し大変に充実した懇談が出来ました。先ず持ってご報告申し上げます。後ほどガバナーには講話・ガバナー補佐には挨拶をお願い致します。よろしくお願いいたします。

◆My ROTARYではロータリー会員向けの情報やツールを数多くご利用でき、ロータリーの知識を多く吸収できる情報もございますので、多くの会員がMy ROTARYに登録頂けますようお願い致します。登録方法については、今年度役員並びに会報委員会にお問い合わせ下さい。

◆当クラブのコロナ対策の出席義務免除の件でございますが、先週の理事会で今月も対照月とする事を決めましたのでご報告いたします。

◆来週の例会は法定休日で休会となり、今週の土曜日から4連休と旅行などに行かれる方もいるかと思われませんが、十分にコロナ対策をしての行動をお願い致します。

■幹事報告.....片庭隆暁 幹事

1. 枝幸RCから活動計画書が届いています。
2. 会長あてに「ひぶな会」の案内が届いています
3. 新入会員の小林会員の歓迎会を来月夜間例会終了後に行う予定です。
4. 次週は祝日のため例会は有りません。次回例会は9月28日、夜間例会ではなく通常例会となるので間違えの無いようお願いします。

■青少年奉仕委員会.....水田孝志 委員長

スポーツ少年団へ助成金をお渡し致します。
※土別体育協会会長神田英一様よりお礼
毎年ご支援頂きありがとうございます。今年はコ

ロナの関係で少年団の活動も滞っていましたが、現在徐々に再開され始めております。今後共宜しくお願い致します。



■卓話.....松田秀郎 ガバナー

思い起こせば、一昨年7月に東京でガバナー会に参加し、11月神戸でのロータリー研究会でガバナーミニ研修会があり、ガバナーへの道が始まりました。会合ごとに多くの方々との出会い、ロータリーの勉強があり、まだまだ不十分ですが、少しずつロータリアンに近づいた気がします。

私のホームクラブは富良野クラブです。1993年に入会しました。職業分類は外科医です。旭川で生まれ、父親の仕事の関係で幌加内町、紋別市、雄武町で暮らしました。その後、旭川市で10年間の学生生活を送り、大学卒業後旭川医大に研修医で戻り、道東の病院を中心に出張していました。縁あって、富良野で平成3年10月に開業し現在に至っております。

還暦を過ぎて、このままの生活を続けていってどんどん肉体的にも衰え、仕事をこなすのも時間がかかるようになり、あわただしく人生を過ごして終わるのかなあ。と感じていたとき、ロー



タリーで居場所を見つけるべく富良野クラブのメンバーにガバナーを目指したいとお話しさせて頂きました。クラブの皆様のご理解を頂いてからの、ロータリーの会合は楽しいことばかりで、元気に活躍されているロータリアンに巡り会う事の喜びは実に見から鱗の、貴重な経験でした。

私は、毎年のように転勤し、勤務医生活をしていましたが、36歳で開業し、今後、定年は自分で決めなければならないと思い、医師の修了、定年をイメージしてビジョンを描いていました。

ロータリーでも戦略会議の重要性を強調しておりホルガークナーCRI会長も各クラブに、会議を開催して5年後のビジョンを明確にする事を強調されています。人生も、クラブ組織も将来の見通しを描くのは大切だと思います。皆様の職業でも目標をもって経営などされていると思いますが、「どの様に関わって、どの様に成長させていくか」を考えることはクラブの活性化には必要なことであります。年度の終わりを意識すると行動計画をいくら練っても足りないと感じると思います。

改めて 基礎知識を確認しましょう。現在、世界のロータリアンの数は約117万5,000人です。昨年から1万4,000人ほど減少しています。世界の地区とクラブ数は36,170です。インドで増えアジアは北米を上回りました。世界には525地区あります。日本はそのうち34地区があり、クラブ数は2,238クラブです。日本の会員数は85,487名で、私が入会した1993年には約12万人の会員がおりました。また、この1年で240人ほど減少しました。2500地区のクラブ数は67クラブ、2,208名の会員です。こちらも少しずつ減ってきています。昨年に比べて46名減少です。日本のインターアクトの数は622あり、ローターアクトクラブは297クラブです

なぜ日本のロータリアンの減少が止まらないのでしょうか。人口は2005年をピークに減ってきています。今後益々、高齢化がすすんでいきます。人口減少と高齢化は会員数の減少に関連していると考えられます。そして、この度の武漢ウイルス感染症が経済に甚大な影響を与えています。経済の停滞、衰退も減少の一因でしょう。

でも、会員減少に手をこまねいていて良いのでしょうか。奉仕活動を継続できるクラブを維持するには、辞める人以上に、入会があればいいと思いますが、辞められた方がロータリーのすばらしさを解らないで退会することは、本人にとっても、クラブにとっても不幸なことです。

今から訊ねる質問にヒントを見つけて頂ければ、会員減少のスパイラルを脱していきけるような気がします。そして、具体的なアイデアが湧いてくれば嬉しいと思います。

『なぜロータリアンになったのでしょうか』

数あるボランティア団体の中でロータリーをなぜ選んだのか。色々な理由があると思いますが、私にとっては理由はそれほど問題ではないと思います。入り口はどの入り口でもいいと思います。入ってから興味を持てばいいと思いますし、会員のモチベーションの温度差はあってもいいと思います。奉仕の精神を持つ、ロータリアンなる事に意味があると思います。

『ロータリーって何だろう』

私たちロータリアンは、基本理念、「四つのテスト」「5大奉仕部門」に従って行動してきました。ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。また、それらの基本的理念だけでなく、ロータリーにはロータリー財団という組織があります。ロータリー財団は寄付を受け付け、資金を配分し、ロータリーの使命を果たすために、共に活動しています。

ロータリー財団は非営利団体の格付け機関であるチャリティーナビゲーターの格付けで11年連続の最高評価を受けており、信頼できる組織です。実に我々の寄付金の91%がプログラムに活用されています。我々は誇りを持って、「ロータリアンだと自慢できる立場にある」という事です。I'm a proud member. なのです。

『なぜ退会しないか』

クラブでやりたいことがある。役職に就いてしまった。もっと知りたいことがある。居心地がいい。どちらかと言えば楽しい。何となく。などあるでしょう。高い会費で例会も頻回。奉仕活動にストレスを感じる方も多いでしょう。でも、辞めたい「そぶり」が見えたら、説得しましょう。自分自身も、会費に見合わない、やめようかなと感じたら、我慢して例会に出ましょう。

辞める理由を見つけるのではなく、辞めたくない理由を考える事が重要です。クラブ活動の目的が見えないなどクラブに不満があってもやめたらダメです。続けていれば嫌なことでも慣れ、少しずつ解ってきますし、だんだん好きになってきます。嫌なことでも「好きだ好きなんだ」と念じましょう。クラブに自分が必要なんだと言い聞かせましょう。絶対に居場所があります。きっと好きになり楽しめます。

『なぜ入会を勧めるか』

わざわざ会費を払って奉仕活動をする団体に、なぜ入ろうと誘うか。仲間を増やしたいから、いいことがあるから、会員増強委員会になったから仕方なく、などあると思います。入会して、どんなメリットがあるの?と聞かれるかも知れません。

ロータリーが与えてくれるものはたくさんあります。まずは、かけがえのない人との出会い、友情、リーダーシップ、職業人としての成長、個人としての成長、世界に触れる機会とのめぐり合い、地域社会とのつながり、倫理原則、家族向けの機会、人前

で話す能力、地区での活躍の機会があります。このように多くの、無形ですが、いずれも「何物にも代えがたい」見返りです。強調してみましょう。

これらの、『なぜ』の答えを丁寧に示してあげれば、入会へのきっかけとならないでしょうか。きっと、気づいていないですが、隣にロータリアンの候補者がいるはずですよ。

今実感することは、立場が人を作り、それぞれの立場で見える景色が違うと言うことです。まさに、今、素晴らしい世界に巡り会っています。この度のクラブ訪問も新しい出会いで、自分の成長があります。感謝しています。成長は年をとっても嬉しいものです。ですから、皆さんもちょっと背伸びして、景色の違いを感じてみましょう。参加は面倒だと思っても、思い切って色々な会合に参加してみましょう。素晴らしい出逢いに感謝するはずですよ。

さて、昨年末から中国で発生した武漢ウイルスのパンデミックで、ほとんどの例会、IM、周年行事、等々の会合が中止を余儀なくされています。日本、世界で、今も感染が広がっており、終息の兆しも見えません。半年たってもまだ得体の知れないウイルスです。治療、予防も明確ではありません。多くの人が亡くなり、ソーシャルディスタンスという名の下で、隔離、移動制限で今まで経験のした事の無い不自由な状況に陥っています。コミュニティーが分断され、ロータリー活動の崩壊の危機を感じました。

さらに、今の文化が死んでしまわないか不安がよぎります。このウイルスは「新しい生活スタイル」の名の下に人間関係をズタズタ引き裂こうとしています。武漢ウイルスはロータリーへの挑戦の様な気がしました。世の中の仕組みをすぐに変えることはできないので、慎重にクラブ活動を行う必要があります。数年後取まるとは思いますが見通しがつかない事ばかりで、現状、どうやって対応していいか、手探りといってもいいと思います。世界のグローバル化に警鐘を鳴らしているのかも知れません。そして、お隣の国を冷静にみるきっかけになったかも知れません。

これからを「ニューノーマル」との表現をされませんが、明らかにアブノーマルに生活しなければなりません。しかし、今後、絶対に「善行の死にはならない」と思います。知恵を絞り、世の中のために自分の職業奉仕を行いながら、改善を重ねながら、奉仕活動を行わなければならないと思います。

そして、みんな、これから新しい奉仕活動を開発して、ロータリーに入会してよかったと、会員と会員候補者にアピールするチャンスです。皆様のワンランクアップした実力を発揮する機会の扉を開きましょう。そして「大胆な改革」と今こそ「相互扶助」が大切だと思います。

さて、国際ロータリーは何を目指しているのでしょうか。RIの戦略計画は2024年までの5年間で中核的価値観、ビジョン声明、行動計画を示し、ロータリアンに発信しています。ご承知の通り今年度のホルガークナークRI会長は「ロータリーは機会の扉を開く」とテーマに掲げました。今までのRI会長のテーマとこの10年のRI理事会の決定を重ね合わせますと方向性が見えるようです。

10年前、2010年の中核的価値観（奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ）が発表されています。2014年に「いりて学び、出でて奉仕せよ」から、「Join leaders Exchange ideas Take action」に変更されたスローガンが掲げられ、具体的に行動、アクションを強調されています。我々は行動人にならなければならないようです。

2017-18年度からの過去のR I会長のテーマを振り返ってみましょう。ライズリー氏の「変化をもたらす」、ラシン氏の「インスピレーションになろう」、マローニー氏の「世界をつなぐ」、クナーク氏の「機会の扉を開く」と続きました。見事にビジョン声明を達成するための、行動計画にのっとったテーマだったように感じます。今までの流れを理解して頂き、地域社会のリーダーと共に、我々の仲間を拡大し、奉仕活動資金を増大することによって、「我々ロータリアンが地域社会での行動人となる」ということが目指していることなのかも知れません。

ここでホルガー・クナーク会長のクラブ訪問の際に伝えてほしいことを再度お伝えいたします。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作ること。
2. 少なくとも1回の戦略会議を開いて頂きたい。
3. 新会員を注意して選びましょう。
4. ポリオ根絶のための寄付と、10月のポリオデーに合わせてイベントを開催してほしい。

の4点です。

新型コロナウイルスのパンデミックで、奉仕団体キワニス、ライオンズ、オプチミストらとの共同声明が発表されました。ご紹介いたします。新型コロナウイルスに対する世界的取り組みは、すべての国での行動にかかっています。今こそ、行動人である私たちが互いに手を取り、助けを必要とする人たちに迅速な支援を提供するときですと前会長マローニー氏は訴えています。

地区大会の目的も「地区内の会員と地域社会リーダーが一堂に会することでロータリーへの関与を深めさせ関係を強化し、世界にロータリーのインパクトと奉仕活動を披露する事にある。」とされ、内輪のロータリアンだけの会以上の拡大が望まれています。

今年度は、新しいプログラムとして RLIを地区で行うべく準備を進め、2月23日、24日の二日間ディスカッションリーダーの養成研修会を行なっています。現在の状況下では研修会の開催はかないません

ですが、しっかりと準備を進めてまいりたいと思いますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

まとまりのない卓話でしたが、仲間を増やす私の考えと、国際ロータリーの目指す姿を中心にお話しさせて頂きました。こんな時でも、今年一年、見つめようロータリー！もっと知ろうロータリー！末長いロータリーの発展のためにスローガンに、地域社会に貢献し、素晴らしい成果を上げられますよう御祈念申し上げます。

■ご挨拶……………稲場英紀 ガバナー補佐

今日は松田英郎ガバナーの公式訪問例会ということで、大変緊張しています。私は地区役員に出向したことはありません。そんな私にガバナー補佐という大役が回ってきましてその重責に困惑していますが、皆さんの友情に支えられながら全うしたいと考えているところでございます。

さて、ロータリークラブには、示唆に富んだ倫理的な哲学的な言葉が数多くあります。

◇ Service above self (自己研鑽の奉仕)

◇ One profits most who serves best (最もよく奉仕する者は最も多く報いられる)

四つのテストや決議23-34号には「利己と利他との調和を目的とするところの人生哲学」などという言葉も出てまいります。毎年発表されるR I会長のテーマや地区ガバナーの活動目標も、端的に表現しながらその人となりを醸し出します。2020~21年ホルガー・クナークRI会長のテーマは、「ロータリーは機会の扉を開く」です。2500地区 松田英郎ガバナーは「ランクアップしましょう」という活動目標を掲げられました。

わたくしは松田ガバナーはじめパストガバナーの方々のご指導のもと、担当する6クラブとの「心のふれあい」を大切にしながら、より友情の輪を広げてゆくよう心掛けてまいります。微力ではございますが、ロータリー精神を念頭に地区運営のために最善を尽くす所存でございます。各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

例会に出席して自己研鑽し、会員との友情、親睦を交わし、ロータリーに関わる事業の共有を継続することによって、真のロータリアンに成長すると考えています。この一年私はROTARY FASTです。

ご清聴ありがとうございます。



ガバナー交換



9月の結婚祝い

近藤峯世会員 藤吉敏博会員 井口裕史会員